

# 京都教区時報

第193号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨  
 編集 京都教区時報編集室 住所 京都市中京区河原町三条上る河原町カトリック会館5F



11  
1993

## 墓前に佇んでする祈り

私が御前に立ちます時に

あなたは私を小さきものよと

仰言つてくださる

私は でも自分のした事知らぬ程  
小さく弱く愚かな者です。

あなたは、私が気付かぬ小さな事を  
祝福し迎え入れてくださる

世の予言者たちが

不吉な恐怖語ります時、

私はあなたの憐れみにうち奮え、  
世の義人たちが

地獄の恐しい火を語ります時、

私はあなたの美しい微笑を觀つめ  
世の賢者たちが

死後の消滅を説きます時

私は天の故郷の灯を見つめてあり  
ます。

あなたの許に召された時には、  
私の愛が輝いた時にして下さい。  
あなたが私の息を引取られるのは  
「愛します」と申し終えた時に  
してください。

私の地上での最後のまなざしは、  
あなたへの微笑であります様に。

愚かなる睦言神よ笑聞あれ

(写真は衣笠墓地でのチャーリー神父の納骨式)

## よりよき福音宣教 共同体となるために

用語解説 その3

### ●「教会共同体」

神の民全員が教会という一つの交わりの団体を構成し、各人が真に平等で、かつそれぞれの固有の立場と任務に応じて、キリストのからだの建設に協働するという一つの目的のために召されていることを念頭に置いた表現。たとえば小教区の信徒一人一人がこの「教会共同体」を構成している。

### ●「特別聖体奉仕者」

司祭・助祭候補者として過渡的子信徒に恒常に任命される「祭壇奉仕者」(第230条)に対し、聖体授与の臨時の奉仕者(第910条第2項)にその意味で「特別に」任期を限定して司教より任命される者をいう。前述の奉仕者の若干の職務、ことばの奉仕職、典礼の祈りの司式、聖体を分配する職務を果たす。「みことばの儀」(司祭不在の聖体祭儀)を公式したり、病人に聖体を運び授与する。京都教区では、一定の養成

を受け、主任司祭の推薦する者に任期一年で、司教が書面で任命する。

### ●「召命促進委員会」

キリスト者の「召命」について、ひろく青少年から成年にかけて考える場を与えて、特に司祭や修道者の召命を促進する目的で通常教区内で作られた委員会を言う。

数名の信徒・修道者・司祭で構成され、「召命」を考える練成会、默想会などを企画したりしている。

### ●「侍者会」

ミサの典礼奉仕をする者を従来から「侍者」と呼ぶが、小教区の中での子どもたちのグループを「侍者会」とする場合や、侍者の子どもたちを対象に開かれる練成会または研修会のようなものを「侍者会」と言うこともある。後者の例として、京都教区では、召命促進委員会主催で、叙階式や聖香油ミサの前に行っている。

### ●「一粒会」

教区神学生を経済的に援助する活動。京都教区では各小教区で「一粒会」専用の献金袋を用意し、賛助者はそれを使って、一日10口(一口1円)を日安に献金する方法を

とつている。ここ数年平均年間六百万円が寄せられている。

### ●「親父会」

聖職者や修道者の両親、兄弟姉妹などの家族で作る会。岡神父によつて始められた京都教区独自の活動で、司祭や修道者を祈りで支え、またひろく教区の召命のために祈ることを目的とし、年に数回の例会を開いて、親交を深めている。

### ●「聖書百週間」

全聖書を初めから終わりまで百週間で通読するプログラム。74年からマルセル・ルドールズ神父によって始められ、補助テキスト「聖書百週間」も発行されている。

的是、信徒が聖書に親しみ、聖書に関する知識を豊かにするだけではなく、神のことばとして読み取り、確信を持って信仰の喜びのうちに生きる信徒を養成すること。理想としては十人位までのグループには指導者がつき、毎回2時間ほどの箇所(通常10~15章)について各集まりに、あらかじめ読んできた自分が感想と祈りを述べ、勉強にこだわらず、聖書を最後まで読み進んでいくことを大切にする。3年

### ●「新求道共同体」

1964年にスペインで生まれたカトリックの運動団体で、「ネオカテクメナーレ」という名のよう、初代教会で求道者が洗礼の秘蹟を受ける前のいろいろな段階を通して靈的な道を歩んだように、同じ道を小教区の中で、特に典礼の生命を懸命に生きることを通して求める共同体。87年現在日本に、7教区で約30の共同体が活動し、京都教区では奈良地区(大和郡山)と三重地区(桑名)にある。また、90年12月に高松に「新求道共同体」のための神学校も設立された。

### ●「一万匹の蟻運動」

教会建築の老朽化に対しての修復費や改築費のための基金を作る運動で、京都南部で始められた。会員が毎日1口十円を節約し、そのお金で寄付するところから「一万匹の蟻運動」と命名される。京都南部の信徒数が約1万人として、その一人ひとりがこの運動に参加して「一万匹、蟻は一匹ではその力が微少でも、十匹、百匹、千匹、一万匹ともなれば大きな力を發揮する」という意味が込められている。

近くかかる。

## 司祭評議会定例会議報告

(9月9日)

### ● 平和への歩みの取り組みの報告

三重地区

11月3日ウォーカソン三重(津)

京都北部地区丹後青年会が解散したので、今年のウォーカソンは中止となりました。

奈良地区

8月8日藤原師の講演会「平和と人権—私たちにできる平和づくり」(奈良教会)

9月23日奈良ウォーカソン(奈良)

京都南部地区

8月1日国際ミサと国際平和パレード「世界はみんな友だち」

11月3日インターナショナル・フェスティ(ドミニコ幼稚園)

滋賀地区

11月23日びわこウォーカソン(大津)

### ● 特別聖体奉仕者学習会

### ● 教区全体の司祭の配置 (共同司牧も)を考える

よりよき宣教共同体となるためにーを参考にしながら、話し合いました。

尚、新しく特別聖体奉仕者になる方は、信徒使徒職養成コースに参加する必要があります。

### ● 大阪教会管区内教区間の司祭交流について

8月2日~3日の司祭とN.I.C

E2担当者の集りで、5教区合同の司祭集会、黙想会、研修会などで協力しあつたり、人的にも交流していったらどうか、ということが出されました。

話し合いの結果、とりあえず、司祭評の代表者会を開き、教区間交流や研修会について、話し合うよう他の教区の司祭評議会に働きかけることになりました。

**〔参考資料〕**  
司祭評適正配置問題検討委員会答申書(これは概略だけです)

#### ▽この取り組み方の方法

【提案】共同司牧・全体の青写真について、司祭・修道者・信徒を含めて考えてみてはどうか。

▽具体的な案を作る前に、最小限の共通理解を取つておく必要がある。

▽何故適正配置が問題か

「神の国を告げ、実現する努力」という福音のメッセージを実践するため

・基本方針・宣教共同体の育成。  
・信徒の共同責任。

ビジョン: 社会と共に歩む教会。

としては、以前から取り組んでいたことをさらに進めていくことになりました。そのためには、以前に作られた司祭評適正配置問題検討委員会(後日、司祭評司牧検討委員会と改称)の答申内容を読み直し、改めて話し合うことになりました。

#### ▽共同司牧の模索

・共同司牧は、教会作り、教会の証しという観点からすれば、本質的な事ではなかろうか。

#### ▽共同体、共同責任のかかえる問題

・共同体をどうとらえるか  
・共同体の概念の持ち方

とまどいながらも……

第2回福音宣教推進全国会議も間近に迫りました。その課題一家庭の現実から福音宣教のあり方を探るーが発表された当初は、「なぜ『家庭』などがテーマに決まったのか」、「どのように取り組むのか」等と受ける側には随分戸惑いがありました。しかし、そう言いながらも、教会・信徒・修道会・司祭が一つになつてこのテーマに挑戦してきました。その中で少しずつ「家庭」の意味の広さ、

離婚の方々は?と目だたない他者への関心と心配が広がっていました。

### ある問いかけ

先日新聞にある婦人が次のよう に問い合わせていらつしゃいました。 「息子と娘が会社に就職し、今年こそ、しばらく、短くても楽しい旅行を夫と2人で…と計画したのは昨年の春でした。突然息子が結婚し、その直後、主人が病に倒れました。病中、娘の結婚が持ち上

室で若いフィリピン女性が流暢な日本語で話しかけてきました。  
「私のだんなさんは日本人で、昨日、日本に帰ったので送ってきたのです。ネグロス島の田舎の私の実家に長男がいて、私はこれからそこに帰るところです」。

「主人は度々フィリピンに来てくれるけれど、5年のうちに家庭がこわれるのではないかしら、私は本当に彼を愛しているのだけれども」と憂いをただよわせていました。愛だけでは成立しない国際結婚の問題。

### 実り

「ナイスは…家庭をいじくりまわそうというのが目的ではなく、家庭の現実から福音宣教のあり方を探るのが目的です」とナイスのビデオで強調された小田師の言葉が具体的にわかつきました。

初めは「何で『家庭』なんて」と迷っていた私ですが、今は、神の国—世界共同体ーの根底であるテーマを取り上げてくださった日本教会に感謝と感激を覚えていきます。10月のナイスの実りを皆さんと共に心からお祈りしつつ…。

### 国際結婚の場合

また先日、マニラの国内線待合

席で若いフィリピン女性が流暢な日本語で話しかけてきました。

妻一人、主婦一人でも家庭ですか?  
善きサマリア人修道会会員 景山 ひろ

深さと共に、宣教につながるその重要さも悟り始めたのではないでしようか。私は、自分史の中の小さな家庭から、奈良教会での横割りのグループでの話し合いのプロセスを通して、いろいろなことを考えさせられました。青年会のグループ、結婚して間もない幼児のいる家庭のグループ等々がありますが、修道者として血のつながる家庭をもたない私はどこへ入るうかしら、子供のない方は?別居、

がり、せめて父親が出席できるうちにと、昨秋結婚式を挙げました。そしてこの春、夫は帰らぬ人となつたのです。:ふと気付くと我が家には、私一人でした。家庭とは何なのでしょうか?今、妻一人、主婦一人でも家庭なのでしょうか。今、私はこの問いを持ち続けながら一生懸命生きているのです」と。  
私にとつて改めて考えさせられる問いかけでした。

### 共感と共有

これまで何気なく通りすぎていった周りの人たちの個々の出来事が、何か私の心にひつかかり、一步立ちどまつて、自分の気付きました。「家庭」「福音宣教」  
「話し合い」等の言葉を耳にし、口にし、心に留めているうちに…。さらにそこから「共感」「共有」

## 子羊会合宿から

四日市教会子羊会代表

今村雅子

去る8月21日～22日に、四日市

教会にて、子羊会の合宿が行なわれましたが、そのおりの報告が四日市教会の主日のお知らせに載せられました。その記事の一部を転載します。

準備にむけて

子羊会(身体障害者・病者・友の会ーボランティア)の会長伊達さんから、「来年の合宿は四日市で計画して下さい」と言われ、心積りはしていても、月日はどんどん経っていました。

「神さま助けてください。協力者を増やしてください。私は7月例会の時、本当に緊張していました。その日、以前リハビリの指導をしておられたというの方が出席され、「私は慣れています。名札、部屋割り(障害者の重き、ボランティアの慣れ、不慣れ、年令など難しい)など大丈夫です」と言わされました。会計も二人の方にお願いし、8月21日・22日の合宿

合宿まで後十日位という日、他の用で、四日市教会の信者の方が

我が家に来られ、「絶対に自分のためでなければ成功するよ」と、玄関での立ち話で帰つて行かれました……。

今年の異常な天気を心配して、合宿の朝を迎えました。ゆずりは

荘、宿泊83名、久しぶりになつかしい人に会えて、みんなうれしそうでした。ストレッチャー2台、車椅子7台です。これで全員到着かとキヨロキヨロしていました。四日市の会員で車椅子の男性は早くも浴衣姿で本当にリラックスした様子。Aさん御一家、御主人と大學生の息子さんとでお風呂に入つたと話しておられました。

私も始めて友の会の人とお風呂に入つて、背中を流してもらひ、冗談も出て、気持ちのよいお風呂になりました。私はお湯の中で何度もありがとうございました。

食事はシスター・マリー・エリス

のお祈りで始まりました。子羊会合宿始めての元陸上選手(四日市友の会)と芸術家タイプの男性会員の食事は、初めはぎこちなかつたのですが、そのうち氣があい、タイミングよくいい関係でした。タイミングよくいい関係でした。浴衣の袖を気にしつつ……。

トレッチャーの会員は、「自宅で寝つきりだつたけれど、苑へ入つてから、ルルドへも、長崎へも、一年に一回合宿にも出られてうれしい」と言いました。

テーマは「かかわり」

22日、11時から四日市教会でごミサに与りました。聖マリア館に移動して、用意して頂いてあつた食事の後、分かち合い。これは伊達さんの希望で、今回が始めてだそうです。

テーマを「祈り」にしたいと言つておられましたが、ご病気で7月に入院され欠席でしたので、今度、伊達さんがお元気で出席の時に、祈りのテーマで話し合つて頂くこととし、今回は「かかわり」で分かち合いをしていただきました。

最後に、リベロ神父様は、体の会の人の中にも、高血圧の人も、腎臓や肝臓を病んでいる人も、障害者と言えるでしょう。会員も友の会もない、皆一緒だと思います。お互いに命を大事に生きて行きましょうと、言われました。皆、体験から出た貴重なお話ばかりでした。

共にある

会員、友の会員のかかわりを聞かせて頂きました。ある友は、「子供の頃から親と一緒に子羊とおつき合いが始まりました」と言われ、又、ある友は、「出来ることを出来る時に」と言われました。

日本で始めて出来た重度障害施設子羊の苑で過ごしておられるス

# 聖書週間

## によせて 村上透磨

聖書は神の御心を伝える書だと言われています。神はその御心と預言者の口を通じ語り続けられ、ついに、神のみことばである御子イエス・キリストが人となり、私達の中に宿されました。御子に聞く者は御父に聞き、聖靈に心を開きます。神に心を開き、「みことば」を受け入れる人は永遠のいのち（神のいのち）を頂きます。

永遠の生命とは、私達が俗に言う魂の救いや天国の幸せを意味します。誰も幸せになりたいのです。誰も救いを得たいのです。救いや幸せを得たいために人はとても貪欲になります。だつたら何故、神のみことばに耳を傾け、これをかみくだき、自分のいのちにしよう

と貪欲にならずにいられるのでしょか。だつたら、何故、聖書に親しもうとしないのでしようか。

11月の第3週目を教会は聖書週間と定め、聖書を読み、親しむことを、特にこの時、心掛け務め、そして神の心に生きる者になるようになると願うのです。本当は聖書週間とか聖書句間というのはおかしいことかもしれません。聖書は私達の最も愛の方、神の心といふことを深めてもらうために活動しています。

いを知らせる、いわば神様の手紙にかぎっておくよりも、いつもすりきれ、手垢のつくほど読み返すはずのものなのです。お読みになれない人には聞かせてあげることが出来ます。レコードより、本当は声を出して読んであげる、それはまさに主の声がひびき合うことになるのでしょうか。

「読んでください」と言う方が本当はおかしい、そんな事は当たり前で、かえって失礼にあたるのではないかと思いますが、実際はぜんぜん失礼にならないこともあります。読んでください」とはどうしたことでしょう。

愛する心をもつて聖書を開き祈りの心を持つて聖書に聞き入り、神のいのちと靈に満たされて、そのいのちを語り、分かち合い、あかししてみたいと思います。

いつも聖書週間です。でも、この時、聖書に親しみたいと思います。あなたのところで、聖書は淋しく泣いていませんか。ではせめてこの時ぐらいは、聖書を慰めてあげねば…。

京都教区聖書使徒職委員会は、教区の聖書委員会として、聖書への関心と理解を深めてもらうために活動しています。

具体的には5月から10月の週1回の聖書講座、聖書週間行事として「みことばをかこう書道展」（福音センター共催）、聖書講演会などの行事や、教区時報での聖書週間ににおけるお知らせなどをを行っています。

行事面において、諸般の事情から、どうしても京都市内中心になつていました。また、カトリック中央協議会聖書委員会に対する教区の報告も、教区全体の状況を報告できているとは言い難い状態でした。

そこでこの度、この委員会が名実ともに教区の委員会として機能していくための第一歩として、各地区の方々と連絡を取りながら、教区内の聖書に関する活動の状況を把握し、中央協議会の聖書委員会とのつながりを深めてゆきたいと考えています。具体的には各地に連絡窓口となつていただく方を選んでいただき、年2回程度の教区委員会を開いて各地区の情報

## 京都教区聖書使徒職委員会

京都教区聖書使徒職委員会

交換や聖書週間ににおける取り組みなどを話し合ながら、小教区一地区一教区一全国というつながり

を大切にしていきたいと思つています。

なお、津教会の下平義三郎氏が中央協議会の聖書委員に委嘱されましたので、中央協議会との連絡および三重地区の窓口になつていただきます。また滋賀地区は草津などの行事や、教区時報での聖書週間ににおけるお知らせなどをを行っています。

ます。

教会の福岡一穂神父、京都北部は北信連の柴原工氏が窓口となることを引き受け下さいました。な

お、教区の聖書委員会担当司祭は河原町教会の村上透磨神父です。

それぞれの小教区や地区での聖書に関する取り組みやご意見をどうぞお寄せください。今後とも教区聖書使徒職委員会をよろしくお願いします。

そこでこの度、この委員会が名実ともに教区の委員会として機能していくための第一歩として、各地区の方々と連絡を取りながら、教区内の聖書に関する活動の状況を把握し、中央協議会の聖書委員会とのつながりを深めてゆきたいと考えています。具体的には各地に連絡窓口となつていただく方を選んでいただき、年2回程度の教区委員会を開いて各地区の情報

あなたの良き隣人として

カトリック御葬儀  
貨物一式(仏式可)

聖ヨゼフ葬典社

パウロ 杉下安雄  
(西院教会所属)

京都市右京区西院寿町23  
(075)312-7829

(文責／柳本 昭)

# あんてな (((((おひこ)))

## ソフトボール大会へ集合!

来たる11月7日、日曜日、滋賀県の光泉中学高校の第2グラウンドにて、京都教区青年ソフトボール大会を行います。日頃、使わない筋肉を動かし、さわやかな汗を通して交流を深めたいと思つております。

参加については、チーム、個人どちらでもかまいません。申し込みは青年センターの方へご連絡ください。老若男女を問わず好プレーを期待しております。

前年度、優勝西院衣笠合併チームを敗るチームは現れるのか、11月7日はグローブ持つてジャージ着て光泉中のグラウンドへ集合!

青年センターのカレンダー、只今制作中です。絵のテーマは「私の大切な物」、6人のイラストレーター(自称)による合作です。よろしくお願いいたします。

雨天の場合はバレーボールをします。↓



## 皆さんに伝えたいバングラデシュがたくさんあります

小幡利夫

いつも私達の活動を支えてくださりありがとうございます。今回も8月29日に草津カトリック教会で行いました派遣報告会の様子をお知らせしたいと思います。

まず最初にスライドを見ながら、現地の人々の生活の様子が紹介されました。活気あふれる街角やスマートな情景等一枚一枚説明を加え、バングラデシュがどんな国かを伝えてゆきました。

続いて報告書を基にメンバーの感想が話されました。ある人は「確かにバングラデシュは貧しいけれど、それだけじゃなくて人々の中に暖かさとかバイタリティがある」と話していました。

ひと通りメンバーの話が終ると、今度は質疑応答に移りました。現地の人々の生活について具体的で突っ込んだ質問が出され、メンバーも一生懸命に答えていました。

その中で「バングラデシュに行つて何か自分が変わったということはないですか?」という質問が出ました。それに対しても「メンバーか

らこんな答えが返つてきました。「何が変わったのかうまく言えない

けれど確かに自分の中で何かが変わったし、これからもバングラデシユに関っていきたい」と。

この他にバングラデシュも手工芸品の販売も併せて行い売上げにご協力いただきました。

当日、報告会にはおばあちゃんから壮年、青年、シスター等々、いろんな方に滋賀各地から来て頂きアットホームな雰囲気の中で報告会が出来ました。協力いただいた滋賀連合会、草津カトリック教会の皆様に心より感謝いたします。

報告会を通じて派遣メンバーの思いや体験を自身の手で直接、教区の人々と分かち合う機会を持つてよかったです。

アジア交流委員会には皆様に伝えたいバングラデシュがたくさんあります。教会で、またグループで、要請があれば出かけて行きたく思います。連絡をお待ちしています。

これからも現地の息づかいを伝える事を通じて交流の輪を広げてゆきたいと思います。

## 教区スケジュール

- 11月
- 2日(火)一般追悼ミサ  
(河原町教会)
  - ▽死者のためのミサ  
(聖母学院中高等学校)
  - 3日(水)バザー  
(聖マリア養護学校)
  - ▽ウォーカソン三重(津)  
△京都ウォーカソン
  - △インター・ナショナル・  
フェスター(ドミニコ)
  - 4日(木)司祭評議会  
(河原町カトリック会館)
  - 5日(金)南信協婦人部追悼ミサ  
(河原町教会)
  - 6日(土)特別聖体奉仕者学習会  
(西院カトリック会館)
  - 6~7日教区召命默想会  
7日(日)衣笠墓地・大日山墓地  
合同墓参
  - ▽結婚互助会相談室  
(河原町カトリック会館)
  - ▽青年センター主催・  
スポーツ大会
  - 12日(金)信睦二金会(西陣教会)
  - 14日(日)希望の家バザー  
▽七・五・三祝福  
(登美ヶ丘教会)
  - 18日(木)司教顧問会  
創立三十周年感謝ミサ  
(河原町カトリック会館)
  - ▽京都南部及び教区司祭  
月例会  
(河原町カトリック会館)
  - 16~26日みとばをかこう書道・  
絵画展  
(西院カトリック会館)
  - 20日(土)正義と平和協議会学習会  
20~23日信徒使徒職養成コース・  
基礎コース  
(河原町カトリック会館)
  - 21日(日)教区一斉京都教区創立記念ミサ・アジア交流の日  
▽西院・桂教会合同堅信式  
21日(日)親交会例会(高野教会)
  - 23日(火)びわこウォーカソン  
(大津)
  - ▽典礼研修会  
「ともにささげるミサ」  
(河原町教会)
  - 25~26日黙想会(河原町教会)  
・聖書使徒職委員会主催  
(西院カトリック会館)
  - 28日(日)聖書講演会  
会場・河原町教会  
会費・2千円(昼食代を含む)  
主催・京都教区典礼奉仕グループ  
申込締切・11月14日  
伏見教会・S山田まで

17日(水)メリノール女子学院  
創立三十周年感謝ミサ

11月

2日(火)一般追悼ミサ  
(河原町教会)

▽死者のためのミサ  
(聖母学院中高等学校)

3日(水)バザー  
(聖マリア養護学校)

▽ウォーカソン三重(津)  
△京都ウォーカソン

△インター・ナショナル・  
フェスター(ドミニコ)

4日(木)司祭評議会  
(河原町カトリック会館)

5日(金)南信協婦人部追悼ミサ  
(河原町教会)

6日(土)特別聖体奉仕者学習会  
(西院カトリック会館)

6~7日教区召命默想会  
7日(日)衣笠墓地・大日山墓地  
合同墓参

▽結婚互助会相談室  
(河原町カトリック会館)

▽青年センター主催・  
スポーツ大会

12日(金)信睦二金会(西陣教会)

14日(日)希望の家バザー  
▽七・五・三祝福  
(登美ヶ丘教会)

18日(木)司教顧問会  
創立三十周年感謝ミサ  
(河原町カトリック会館)

▽京都南部及び教区司祭  
月例会  
(河原町カトリック会館)

16~26日みとばをかこう書道・  
絵画展  
(西院カトリック会館)

20日(土)正義と平和協議会学習会  
(河原町カトリック会館)

20~23日信徒使徒職養成コース・  
基礎コース  
(河原町カトリック会館)

21日(日)教区一斉京都教区創立記念ミサ・アジア交流の日  
▽西院・桂教会合同堅信式  
21日(日)親交会例会(高野教会)

23日(火)びわこウォーカソン  
(大津)

▽典礼研修会  
「ともにささげるミサ」  
(河原町教会)

25~26日黙想会(河原町教会)  
・聖書使徒職委員会主催  
(西院カトリック会館)

28日(日)聖書講演会  
会場・河原町教会  
会費・2千円(昼食代を含む)  
主催・京都教区典礼奉仕グループ  
申込締切・11月14日  
伏見教会・S山田まで

17日(水)メリノール女子学院  
創立三十周年感謝ミサ

## Y 信徒使徒職養成コースの案内

第94回基礎コース  
日時・11月20日(土)午後7時

## お知らせ

Y 正義と平和協議会学習会  
日時・11月20日(土)午後7時  
場所・(河原町カトリック会館)  
テーマ・教会に於ける女性の立場  
いかにして生きてきたか。女性  
はやはり見えてこない存在な  
か。

福音センターまで 075-822-7123  
申込締切・11月1日  
費用・21000円

福音センターまで 075-822-7123  
申込締切・11月1日  
場所・宇治カルメル

Y 聖書講演会  
日時・11月28日(日)13時半~16時  
場所・(西院カトリック会館)

Y 韓国の劇団ノペリ・ハントウレ  
による「声なき挽歌」の上演  
日時・11月8日(月)18時半  
場所・同志社大学学生会館

Y 徒歩宣教の意味  
講師・アンドレ・コレーン師  
会費・500円 聖書持参

Y 韓国の劇団ノペリ・ハントウレ  
による「声なき挽歌」の上演  
日時・11月8日(月)18時半  
場所・同志社大学学生会館

Y 徒歩宣教の意味  
講師・アンドレ・コレーン師  
会費・500円 聖書持参

Y 韓国の劇団ノペリ・ハントウレ  
による「声なき挽歌」の上演  
日時・11月8日(月)18時半  
場所・同志社大学学生会館

Y 徒歩宣教の意味  
講師・アンドレ・コレーン師  
会費・500円 聖書持参

Y 典礼研修会  
日時・11月23日(火)9時~17時  
テーマ・ともにささげるミサ  
講師・土屋吉正師  
帘 功師

Y 典礼研修会  
日時・11月23日(火)9時~17時  
テーマ・ともにささげるミサ  
講師・土屋吉正師  
帘 功師

Y 「二万匹の蠍運動」基金報告  
累計 4,119,282円  
加入者 663名  
(9月13日現在)

Y 「二万匹の蠍運動」基金報告  
累計 4,119,282円  
加入者 663名  
(9月13日現在)

